

2014年度 11月開講 「企業ブレイン養成科」シラバス

内容が変更される場合があります。

帝京大学 冲永総合研究所

●科目名：国際ビジネス政策

●担当講師：小林秀明

●授業のねらい：

国際ビジネスに従事する上で役に立つ政府関連事項、即ち①日本政府による開発援助、海外ビジネス支援、海外在留邦人保護、②外国政府に関連して生じる各種のリスク、③日本及び諸外国の競争政策、④貿易・金融分野の主要国際機関の活動、⑤二国間・多国間の経済連携の動き及び地域的経済共同体、について、事例を通して理解を深める。

●授業内容

日程	回	テーマ
12/3 (水)	第1回	政府開発援助(ODA) 第1部 ①ケーススタディ ②無償資金協力
	第2回	政府開発援助 第2部 ③技術協力 ④有償資金協力 ⑤国際機関を通じる援助
12/10 (水)	第3回	日本政府による海外ビジネス支援 ①外務省・在外公館 ②国際協力銀行(JBIC) ③日本貿易振興機構(JETRO)
	第4回	海外在留邦人保護と出入国管理 第1部 ①海外在留邦人保護 ②国際テロ対策
12/17 (水)	第5回	海外在留邦人保護と出入国管理 第2部 ③在外子女教育 ④在外選挙 ⑤出入国管理政策
	第6回	外国政府のリスク 第1部 ①ケーススタディ ②外国政府の安定性
12/24 (水)	第7回	外国政府のリスク 第2部 ③法的リスク ④外国公務員への贈賄防止
	第8回	競争政策 第1部 ①ケーススタディ ②日本の独禁法
1/7 (水)	第9回	競争政策 第2部 ③米国反トラスト法 ④EU競争政策
	第10回	競争政策 第3部 ⑤ダンピング措置 ⑥国際反トラスト協力
1/14 (水)	第11回	国際金融機関 ①国際通貨基金(IMF) ②国際復興開発銀行(世界銀行) ③最近の動き
	第12回	国際貿易機構(WTO) ①概要 ②紛争解決手続き ③ドーハ・ラウンド
1/21 (水)	第13回	自由貿易協定(FTA)と経済連携協定(EPA) ①日タイ経済連携協定 ②日本の経済連携協定政策の進展
	第14回	地域共同体 第1部 ①東南アジア諸国連合(ASEAN) ②欧州連合(EU)
	第15回	地域共同体 第2部 ③環太平洋連携協定(TPP)

●使用テキスト： オリジナルテキスト

●科目名：環境・CSR問題の現状と課題

●担当講師：青木修三

●授業のねらい：

公害問題・地球環境問題の経緯と課題、社会的責任に関する国際標準成立の背景など環境、社会的責任問題に関するグローバルな展開を具体的に学びつつ、持続可能な社会の構築や21世紀のわが国のあり方等について考察する。また、毎回「今週の世界と日本」と題し、「環境」、「社会」、「経済」、「政治」等に関するフリー・ディスカッションの時間を設けるとともに、前回の「キーワード」や「メンバーの感想」に基づき「復習と演習」を行う。

●授業内容

日程	回	テーマ
12/8 (月)	第1回	地球環境問題の現状と課題 (I) 「公害問題から地球環境問題へ」
	第2回	地球環境問題の現状と課題 (II) 「気候変動の激化と人為起源に関する議論—IPCC (AR 5)」
	第3回	地球環境問題の現状と課題 (III) 「地球温暖化懐疑論と現実的対応」
	第4回	地球環境問題への対応 (I) 「環境問題への提言」

- 科目名：経済の動きを読む
- 担当講師：原耕平
- 授業のねらい：財・サービス市場と金融・為替市場の相互関係の理解をめざす。

●授業内容

日程	回	テーマ
11/6 (木)	第1回	何故世界が急速に一体化してきたか？（80年代以降の経済社会の変化を眺める）
	第2回	経済指標で眺める世界経済の変化
11/13 (木)	第3回	為替レートで眺める世界経済
	第4回	円高・円安とは（通貨価値の変化が生み出す経済構造変化）
11/20 (木)	第5回	デフレ・インフレとは（需要と供給の変化）
	第6回	急増する日本の海外共有（製造業生産の変化を眺める）
11/27 (木)	第7回	物価動向で眺める日本経済（輸出、輸入、生産者、消費者、4つの段階での物価変動）
	第8回	家計消費の変化から眺める環境変化
12/4 (木)	第9回	付加価値率の変化とオウクンの法則で眺める経済成長と労働市場
	第10回	生産性と実質所得、労働分配率から眺める企業と雇用者の関係
12/11 (木)	第11回	金利の推移で眺める世界経済
	第12回	需要や通貨に影響を与える実質金利とは
12/18 (木)	第13回	実質金利と貯蓄・投資バランスから眺める為替レート
	第14回	米国の労働市場の変化で眺める日本が選ぶ道
	第15回	まとめ

●使用テキスト：

『「金利」がわかると経済の動きが読めてくる！』すばる舎

『Excelでやさしく学ぶ統計解析〈2013〉』東京図書

●科目名：戦略的人材マネジメント

●担当講師：山崎啓二郎

●授業のねらい：

企業経営において競争優位性を保つために、その組織に集う人材をどう活性化させるかは普遍的な課題です。舵取りが一段とむずかしくなってきたグローバル時代での経営環境の中で、旧来の日本型人材マネジメントは試行錯誤の状態にあり、現場での人材マネジメントの推進者であるミドルマネジャーの役割はより高度化・複雑化し継続的な自己啓発が求められています。この講座では人材マネジメントの基本を学ぶとともに、現場の実例を検証し「ヒト」への理解を進める中で、自己の内省を含め実践的な人材マネジメントの手法を学習します

●授業内容

日程	回	テーマ
11/12 (水)	第1回	人材マネジメントの基本理解、人材マネジメントの目的、方法、学術論
	第2回	人材マネジメントの基本理解、G討議「人材マネジメント上の課題」
11/19 (水)	第3回	「コミュニケーション」の重要性
	第4回	「コミュニケーション」の実践
11/26 (水)	第5回	「リーダーシップ」の基本理解
	第6回	「リーダーシップとフォロアーシップ」
12/9 (火)	第7回	「実践的リーダーシップ論」外部講師講演
	第8回	「職場のマネジメント」人材の配置、育成、選抜
1/13 (火)	第9回	「職場のマネジメント」の実践、トラブルの解決
	第10回	コンプライアンスとリスクマネジメント、外部講師講演
1/20 (火)	第11回	モチベーションとインセンティブ
	第12回	能力開発の実践
1/27 (火)	第13回	人材の多様化への対応、ポジティブアクション
	第14回	「考え方」の重要性
	第15回	「自分はどのような人材を目指すか」G討議

●使用テキスト：資料を毎回配布する

●科目名：ベンチャービジネス&中小企業経営

●担当講師：カン・ビクトリヤ

●授業のねらい： この授業では、現代経済社会における中小企業の活動実態や存立環境、ベンチャー企業が直面する問題点についての理解を深めるとともに、新規開業企業のビジネスモデルの設計と戦略的経営にあたって創業者が検討すべき経営課題、起業家の思考プロセスを把握してもらい、起業家精神および問題発見能力を養成することを目標とします。なお、中小企業が成長を遂げるためにどのような課題の解決を目指さないといけないのか、また技術革新やグローバル化、サービス経済化、情報化の進展といった経営環境の変化にどのように対応すべきか、などについても解説します。

●授業内容

日程	回	テーマ
12/5 (金)	第1回	中小企業とは何か（中小企業概念、定義、存立条件）、現代経済における中小企業の位置と役割
	第2回	日本における創業の必要性、ベンチャービジネスの現状（国際比較を含む）、新規開業の決定要因（参入のメカニズム、参入障壁、業種・地域別の創業）
	第3回	アントレプレナー（起業家の特質、創業の意思決定、アントレプレナーシップとリスク）
12/12 (金)	第4回	起業家の思考プロセス（事業機会の認識、アイデアの創出、ビジョンの実現）、事業計画立案のチェックポイント
	第5回	ビジネスモデル・ジェネレーション①（ビジネスモデル概念、顧客セグメント、価値提案、チャネル、顧客との関係）
	第6回	ビジネスモデル・ジェネレーション②（収益の流れ、リソース、主要活動コスト構造）
1/9 (月)	第7回	サービス経済化とベンチャー企業（サービス財の特徴、サービス産業の諸類型）、情報化によるビジネスモデルの変化
	第8回	デジタル時代のビジネスモデル（プラットフォーム戦略、フリー戦略、オープン戦略など）
	第9回	中小企業経営の特質（経営課題、経営の類型、開業の形態、中小企業の組織形態）
1/16 (金)	第10回	中小企業の戦略的経営（競争戦略、業界構造の分析）、競争地位別戦略（市場ポジショニング、コア・コンピタンス、先発優位性）
	第11回	中小企業のマーケティング戦略（マーケティングマネジメントプロセス、情報システム、リサーチプロセス、流通・販促戦略）
	第12回	中小企業のイノベーション（経営革新の内容と意義、経営革新の現状と効果）
1/23 (金)	第13回	中小企業と労働問題（労働力の構成・確保、人材開発戦略、後継者育成）、組織マネジメント
	第14回	中小企業と金融問題（資金調達構造、財務特質、収益構造）、ビジネスモデルの経済性・実現性
	第15回	地域経済の変化と中小企業（地域資源・地域ブランドの有効活用、産業集積、中小企業のネットワーク、異業種交流、新たな連携の形）

●使用テキスト：毎回、配布資料、PPT を使用する予定です。

- 科目名：経営に役立つ財務分析
- 担当講師：高橋司
- 授業のねらい：財務諸表を読みとくにあたっての必要な知識を習得する。当授業は、簿記・会計の知識が無い者に対する簿記・会計の知識の習得や経験者の復習も兼ねて実施する予定である。

●授業内容

日程	回	テーマ
11/5 (水)	第1回	オリエンテーション、簿記等の基礎知識の確認
	第2回	
	第3回	
11/7 (金)	第4回	損益計算書の分析
	第5回	
	第6回	
11/10 (月)	第7回	貸借対照表の分析
	第8回	
	第9回	
11/14 (金)	第10回	キャッシュ・フロー計算書分析、その他の分析指標
	第11回	
	第12回	
11/17 (月)	第13回	具体的な分析の実施
	第14回	
	第15回	

- 使用テキスト：『ダンゼン得する知りたいことがパッとわかる会社の数字がよくわかる本』平井孝代著 株式会社ソーテック社 2014.6.30 発行

●科目名：就職支援

●担当講師：荻野晃

●授業のねらい：

- ・ 就職活動の全体像を把握し、就職活動に必要な知識を修得するとともに実践活動を促進する。
- ・ 講義、個人ワーク、グループ討議、全体討議などの組み合わせにより学習意欲を高め、早期に就職ができるようモチベーションの維持・向上をはかる。

● 授業内容

日程	回	テーマ
11/11 (火)	第1回	オリエンテーション (授業のねらい、他)。就職活動の全体像の把握 (講義)。自己分析と環境分析 (講義、個人ワーク)
	第2回	職務経歴の棚卸しと応募書類の作成 (講義)